

SSC
 埼玉県障害者社会参加 推進
センターだより
 平成 29 年 9 月 30 日 114 号

編集
 埼玉県障害者社会参加推進センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原 3-10-1
 県障害者交流センター内
 TEL 048-825-0707
 FAX 048-825-3070
 メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp
 HPアドレス http://saitama-shokyo.org/info/
 発行 NPO法人埼玉障害者センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原 3-10-1
 頒価 一部 100 円 (会費に含まれます)
 発行日 10 日・20 日・30 日

津久井やまゆり園事件から1年 ー決して風化させず、前に進んでいこうー

NPO法人 埼玉県障害者協議会代表理事 田中 一

はじめに

この事件は、障害者やその家族のみならず、多くの方々に、言いようのない衝撃と不安を与えました。

平成 28 年 7 月 26 日相模原市の神奈川県立津久井やまゆり園で起きた障害者殺傷事件は、19 名が死亡、27 名が負傷(うち 3 名は職員)という前代未聞の事件でした。犯人は「重度障害者は生きる価値がない」と主張して、殺害に及んだのです。しかも、元職員でありました。

この事件の背景にはいったい何があり、私たちはどのようにとらえたらよいのでしょうか。

社会全体の問題として

この事件の後(平成 28 年 10 月 14 日)、神奈川県は「ともに生きる社会かながわ憲章」この悲しみを力に、共に生きる社会を実現します」を制定しました。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、共に生きる社会の実現をめざし、この憲章を定めますと謳われています。一部ご紹介します。

- ・私たちは、あたたかい心をもつて、すべての人のいのちを大切にします
- ・私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します

- ・私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- ・私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

ともに地域で支え合い ふつうに暮らせる社会へ

今回の事件を通して、障害者に対する偏見や差別的思考を多くの人たちが心の底に抱き、障害者を「別世界の人」ととらえる意識が誰にも根強くあると感じました。しかし、偏見と差別意識は誰にでもあり、決してなくならないかもしれませんが、それを乗り越えて、共に暮らせる社会をめざしていくことが重要です。

社会が、一般の人が障害者を知らない状況・現実があり、そのことが障害者を生きづらくさせているのではないのでしょうか。

社会・世間に対して、粘り強く互いに理解を深める努力、平等に生きる価値は変わらないことを説明していく必要があるでしょう。

誰もが高齢になると身体機能が衰え、障害者のように支えが必要になります。「自分は障害者にならない」ということはありません。誰もが他人事ではなく、我が事として地域で安心・安全にとともに支え合いながらふつうに暮らせることができる地域社会を一緒に創っていくことが重要です。

むすびに

障害者差別解消法、埼玉県の共生社会づくり条例・手話言語条例が昨年施行され、大きな転換期になる年に、事件が起きました。決して風化させず、差別禁止と合理的配慮を社会の隅々までいきわたらせる努力を、すべての人が惜しんではならないと思います。

特集

デフリンピック・サムスン2017 「埼玉県知事・県議会議員を 表敬訪問」

一般社団法人 埼玉県聴覚障害者協会



7月11日、第23回夏季デフリンピック競技大会・サムスン日本代表選手として選ばれた埼玉県在住の選手6名と監督やコーチ、看護師4名が、上田清司埼玉県知事を表敬訪問しました。上田埼玉県知事から「みなさん、しっかり頑張ってください」と手話で激励を頂きました。バドミントンの品田千紘選手は、「前回の大会（ブルガリア）では四位。悔しい思いを晴らすため、4年間頑張ってきた。県民の皆さんの期待に応えられるよう頑張る」と抱負を述べました。

このあと、埼玉県知事から各選手の名前入りのたすきをかけた埼玉県のキャラクター「コバ



ぬいぐるみ



だるま

【出場選手】（8名）

バドミントン競技

品田 千紘（朝霞）

バドミントン競技

沼倉 昌明（朝霞）

サッカー競技

岡田 拓也（川口）

サッカー競技

大西 諒（八潮）

サッカー競技

林 滉大（さいたま）

空手競技

宮下 昭宜（越谷）

テニス競技

親松 直人（熊谷）

バレーボール競技

平岡早百合（美里町）

【監督・スタッフ】（5名）

（ろう者2名）

本部・看護師

鯨井 恵子（所沢）

バドミントン・監督

中西 潤（熊谷）

バドミントン・コーチ

井上 美緒（越谷）

卓球女子・監督

須藤 聡美（八潮）

バレー男子・コーチ

逸見 尚史（越谷）



デフリンピックとは

身体障害者のオリンピック「パラリンピック」に対しデフリンピックは、ろう者のオリンピックとして、夏季大会は 1924 年にフランスで、冬季大会は 1949 年にオーストリアで初めて開催。

ろう者自身が運営する、ろう者のための国際的なスポーツ大会であり、また参加者が国際手話によるコミュニケーションで友好を深められるところに大きな特徴がある。

運営組織は、国際ろう者スポーツ委員会で、1924 年の設立以来、デフリンピックやろう者世界選手権大会の開催、そして各国のろう者スポーツの振興など、着実な取り組みを続けている。現在の加盟国は 104 カ国である。
(参考資料：全日本ろうあ連盟 デフリンピック啓発サイト)

パラリンピックとの違い

国際パラリンピック委員会が 1989 年に発足した当時は、国際ろう者スポーツ委員会も加盟していたが、デフリンピックの独創性を追求するために、1995 年に組織を離れた。そのために、パラリンピックにろう者が参加できない状況が続いている。なお、デフリンピックの独創性とは、コミュニケーション全てが国際手話によって行われ、競技はスタートの音や審判の声による合図を視覚的に工夫する以外、オリンピックと同じルールで運営される。また、パラリンピックがリハビリテーション重視の考えで始まったのに対し、デフリンピックはろう者仲間での記録重視の考えで始まった。しかし、現在は両方とも障害の存在を認めた上で競技における「卓越性」を追求する考えに転換している。
(参考資料：全日本ろうあ連盟 デフリンピック啓発サイト)

デフリンピック・サムスン 2017
「過去最高のメダル獲得！」
バレーは 16 年ぶりの金

7 月 18 日 (火) ～ 30 日 (日)

にかけてトルコ・サムスンで開催されたデフリンピックが終わり、日本選手団として目標を掲げていたメダル合計 25 個を超え、27 個獲得を果たしました！
また、バレーボール競技で埼玉からの選手が金メダルに輝きました！埼玉からの出場選手で、各競技結果については以下の通りです。

【バレーボール競技】

▽出場選手

平岡早百合 (美里町)

決勝トーナメントではブラジル

(準々決勝)・ウクライナ (準決

勝)・イタリア (決勝) に快勝！

予選から決勝まで 1 ゲームも

落とすことなく、16 年ぶりに金

メダル獲得！

【バドミントン競技】

▽出場選手

沼倉 昌明 (朝霞)

品田 千紘 (朝霞)

沼倉選手の所感

(混合ダブルス ベスト 8 入り)
賞・男子ダブルス ベスト 16)

ノーシードからベスト 8 入り

を果たしたのは大きな自信とな

りました。デフリンピックは新

しい発見と素晴らしい経験、そ

して多くのことを学びました。

このような機会を与えていただ



いた皆様に感謝いたします。

品田選手の所感

(女子ダブルス 4位入賞・混合ダブルス ベスト8で入賞)
サムスンデフリンピックを通してデフリンピックが日本国内に広まっていつているということ強く感じました。メダルを持ち帰ることができずとても悔しいですが、大勢の方々の声援を胸に戦うことができて幸せでした。引き続きデフスポーツへのご声援をよろしくお願い致します。

宮下選手の所感

私は空手競技のスタッフ&選手としてデフリンピックに参加しました。今までは選手として世界大会に出場したことがありますが、デフリンピックは初めてでした。私が出場する種目は個人形、団体形、団体組手の3種目でしたが、いずれも初戦敗退でした。でも、力を出しきれて、デフリンピック選手とも戦えて、とてもよい経験になりました。メダルが欲しかった。日本ではデフリンピックの認知度はあまり高くないようですが、認知度を上げるためにこの世の中で訴えていきたいと思っております。

【サッカー競技】

▽出場選手(3名)
大西 諒(八潮)
岡田 拓也(川口)
林 滉大(さいたま)
予選リーグは1勝1敗1分、リーグ3位で決勝トーナメント出場ならず予選敗退。

【テニス競技】

▽出場選手
親松 直人(熊谷)
男子ダブルスベスト8で入賞
男子シングルスベスト32



▽出場選手
宮下 昭宜(越谷)

【監督・スタッフ】(5名)

本部・看護師
鯨井 恵子(所沢)
7月14日〜8月1日までの19日間トルコ、サムスンにて行われた第23回デフリンピックに帯同看護師として参加させていただけました。
ほぼ初めての海外、聴覚障害者の帯同と言うことで不安もありましたが、選手の方々と、他の帯同スタッフの笑顔と、パワーに助けられ無事任務を終えることが出来ました。
長時間の移動、異国での食事、水の違い気候の違いなどで、体調を崩される選手もいましたが、その時々症状にあわせ内服薬での対応を行い、症状の確認や、注意事項、薬の飲み方の説明などは、手話通訳のスタッフに立ち会っていたいただきました。薬の飲み方に関して是最終的に飲み方をメモに書いて伝える方法を取りお互いに確認することが出来よかったですと思いました。また、
次回の大会に向け選手関係者の方々は、練習や準備が始まると思いますが、体調管理を行わない次の大会を目指してください。健闘をお祈りいたします。
今回このような機会を頂き有難うございました。
バドミントン・監督
中西 潤(熊谷)
2回目のデフリンピックは監督としての出場でしたが、マネジメントすることの難しさを実感しました。最終的にメダル獲得ができ、これまでの事が報われた気がします。応援を頂いた皆様、ありがとうございます！
卓球女子・監督
須藤 聡美(八潮)
第23回夏季デフリンピック競技大会において、卓球女子は団体銅メダル、ダブルス銅メダルと2つのメダルを獲得できました。選手は持てる力を全て発揮してくれました。
支えてくださった多くの皆様
に心から感謝申し上げます。

難病障害者のひろば

「重症筋無力症」 患者会の活動

NPO 法人筋無力症患者会 埼玉

石川 節子

重症筋無力症とは

脳から体を動かす指令は電気的な信号になり筋肉まで伝わります。「重症筋無力症（MG）」は、この伝達の最終部分にあたる末梢神経と筋肉をつなげる神経筋接続部の病気です。この部分にあるアセチルコリン受容体に対して、血液中に存在する自分自身の体を攻撃する自己抗体が原因となる、自己免疫疾患の一つです。MG 発症は 20〜40 代の女性が多く、小児から高齢者まで発症し、特に高齢発症の頻度が増加傾向にあります。

最初に現れる症状として最も多いのが、眼瞼下垂や複視などの眼症状です。手足の筋力低下により、髪をとかず、洗濯物を干す、歯を磨く、階段を上るといった動作の際に異常に疲れやすくなります。顔面筋や、顎の筋肉に障害が現れると、頬を膨らませられない、眼を閉じることが出来にくい、食事の途中で噛めなくなるといったことがおきます。喉、舌の筋肉に障害が現れると、食べ物を飲み込むときにむせたり、気管に入ってしまう嚥下障害が生じたり、構音障害が生じて長い会話の途中から声が鼻に抜けて鼻声になり、言葉が聞き取りにくくなります。重症になると、呼吸困難を起こすこともあります。

筋無力症は、見た目にはわかりにくいいため、家族や周りの人からなかなか理解してもらえず、辛い思いをしている人がたくさんいます。筋無力症は難治性の疾患ですが、治療を適切に行えば日常生活の影響も最小限で済み、健康な人と変わらない生活が送れます。



患者会の活動

会できるような会にしていかなければいけないと考えています。

患者会としての活動は、お茶会とおしゃべりをいっしょにしたお茶べり会を 2 カ月に一回開催して、近況報告などをしながらおしゃべりを楽しんでいきます。あと川越、所沢、熊谷、谷根千、浅草など〇〇散歩として、会員家族で計画を立てて交流をはかっています。そして年一回埼玉医大の先生との医療講演会を開催しています。いろいろ難しいことありますが、無理をせず、これからも続けられるようにしていきたいと思えます。



埼玉県内には、患者数は 1200 人強います。患者会に入会している人数は、60 数名いますが、インターネットで情報が得られるので、若い方の会員は少ないです。お互いに顔を見ながら話が出来るのが患者会の姿だと思っておりますから若い人が入

精神障害者のひろば

富山県精神障がい者団体連合会

定期総会記念講演にて

埼玉県精神障害者団体連合会「ポプリ」事務局 末吉 俊一

2017年6月4日09時2

分。「さいたま市」大宮駅18番

線を北陸新幹線かがやき505号は

定刻通り、埼玉県の障害者運動

の新しい地平を目指し、有村律

子会長とボクを乗せて滑り出し

た。目指す街は富山市。富山県

精神障がい者団体連合会の定期

総会の記念講演に招かれたの

だ。

いかなボクも調べるものは調

べる。富山県の精神障がい者や

障害者運動が生み出した成果と

課題についても。

まず成果2つ。

① JRグループ以外の鉄道路線

に「精神障害も有効な」障害者

半額があったこと。

② 障害者の成人式が全国に先

駆けて行われたこと。

課題はボクの心に聞いてくだ

さいませ。



102分後、かがやきは定刻通り富山駅に滑り込んだ。タクシーで会場へ。富山大学から近い「ゆりの木の里」へ向かう。

長めの昼食休憩の後、定期総会が終わり、有村会長が先に講演。会長のNHK総合TVに出演した際の録画を流したのち会長が講演。

次はボク。肩書きを間違えられて右往左往したが無事講演修了。

懇親会でわれらのポプリ通信を見せたところ障害者定期刊行物協会の話になる。家平さんに電話したところ富山県に本拠地のある団体があることがわか

り、後日連絡する。

ボクの学生時代に、日本福祉大学に存在していた混声合唱サークルあしび馬酔木が1985年に制作した「心のうたで」を軸に講演を進めました。



いつもの街でギターをひいてぼくらのつくる心のうたで道行く人が振り返るよ 人の流れが変わってゆく 誰もが心を開き自分の歌を歌うときこのまちのみらいが見えはじめる かがやく明日が見えはじめる これが言えたので幸せでした。

身体障害者のひろば

公益社団法人日本オストミー協会 第29回全国大会(埼玉大会)報告

日本オストミー協会埼玉県支部 支部長 須賀 昭典

日本オストミー協会、第29回全国大会(埼玉大会)は、平成29年6月11日・12日、埼玉県さいたま市大宮ソニックシティにて、開催されました。「大宮ソニックシティ」には2日間で延べ約600人の会員とその家族、賛助会員、医療関係が集合しました。

初日、支部長会議は、新支部長の紹介があり、テーマは「看護・介護職のストーリーマケア在宅支援研修の現状と課題」でした。名古屋大学教授前川厚子先生の基調講演の後、5支部(千葉県・神奈川県・愛知県・兵庫県・横浜市支部)による事例発表、特別講話「介護職にストーリーマケア交換が規制緩和される意義」に引き続き、パネルディスカッションが行われた。次に「平成28年度会員増強・社適事業報告」に



ついて、データ集計結果報告の後、代表4支部による実施報告が有りました。定員90席の集会所が傍聴席を含め満員の状況でした。一方、並行して開催された交流会は、消化器系・泌尿器系ストーリーマ交流会、若いオストメイト全国交流会が行われ、各会議室とも満席でした。特に今年初めての試みで交流会各グループにアドバイザーとして皮膚排泄ケア認定看護師に加わって頂き実質的かつ専門的な交流会と成りました。

大会2日目式典には、来賓に、上田埼玉県知事、清水さいたま市長(代理)、NPO法人埼玉県障害者協議会田中代表理事、さいたま市障害者協議会田口会長、顧問医進藤先生、辻仲先生をお招きし、埼玉支部長挨拶、

笹岡会長挨拶、来賓祝辞のあと、関係者に感謝状、表彰状が贈呈されて式典を閉会した。午後、埼玉県支部開催行事として、対談「ストーリーマとの生活を経験した私に出来ること」と口笛演奏が行われた。中井美穂氏と前会長 高石道明の対談は、ストーリーマ生活1年の経験を軽いタッチでリズム良く会話が進みアツという間の1時間でした。

アトラクションとして、柴田晶子氏の口笛演奏(松田光弘氏のピアノ伴奏)が行われました。3オクターブという広音域でヴァイオリンやフルートのために書かれた作品を口笛で演奏し、加えてオルゴールやマリオネットも添えて诗情溢れる世界を創り、幅広いパフォーマンスの演奏でした。オーブニングの「子犬のワルツ」に続き「愛燦燦」、「川の流れるように」、「カレンメンファンタジー」、手回しオルゴール伴奏およびマリオネットの演技付きで、「星に願

い」、「紡ぎ風」(口笛用オリジナル曲)など聴く機会が少ない口笛演奏に、そして曲間には口笛に関する解説を含めて、诗情豊かなパフォーマンス、ピアノとのコラボレーションは迫力満点で、聴衆は酔いしれ、万雷の拍手に応えて、アンコール曲、「A列車で行こう」の元気な曲でエンディングを迎えました。

本大会コンセプトは、日本オストミー協会の全国大会は勿論ですが、一つの障害者団体の埼玉県での全国大会開催でした。行政の方や障害者団体の皆様に助けられ、会員・賛助会員、皮膚排泄ケア認定看護師の皆様が一体となった大会運営で、組織力を最大限に発揮した第29回全国大会(埼玉大会)でした。皆様の努力の結果、6月14日付毎日新聞さいたま版に『オストメイト』に理解を」と大きな見出しつき写真入りで3段の記事となって取り上げられたことは、社会的認知の手助けになったと思います。

障害者 IT サポートセンター活動ご紹介

無料サポートにつき、ぜひご利用を！ ☎048-825-2749 へ！

毎週、火、木、土曜の午前中、障害者交流センター受付奥の団体交流室前のパソコン室から元気な人工音声が流れてきます。これは、視覚障害者の方が、音声ソフト使ってパソコンを勉強している声です。



県登録のボランティアが習得をお手伝い

最近では視覚障害のためパソコン操作が困難な方が音声ソフト手助けで、

- ・本やニュースを読んだり（聴いたり）
- ・旅行の申し込みをしたり
- ・ネットショッピングをしたり、

障害があり、パソコンを触ったことのない初めての方でも、県登録の ITSC ボランティアがご希望に沿って個別にサポートさせていただきます。



事業開始から 13 年

障害者のパソコン習得や不具合解消支援のため、NPO 法人埼玉県障害者協議会が県の委託で「障害者 IT サポートセンター」（略称：ITSC）事業を開始してから 13 年。毎年、200 人以上の方へパソコン操作のお手伝いをさせていただいています。

これからはスマホの時代？

スマホは、パソコンに代わる？ すでに Windows10 では Cortana に問いかけるだけで検索結果を教えてくれたり（AI 活用による音声対話）、確実に進化していますが、やはりパソコンの基本的理解がベースです。

これまで、パソコンに触れる機会のなかった方でも、以下にお電話いただくか障害者交流センター1階、受付奥の団体交流室内・障害者 IT サポートセンター増田までお訪ねください。ご来訪が困難な方には訪問サポートも可能です。パソコンの勉強をされたい方には皆さんのご希望のペースでボランティアの方がゆっくり個別サポートさせていただきます。

場 所：埼玉県障害者交流センター1階 障害者 IT サポートセンター

対応日時：火曜、木曜、土曜日 10時～16時（午前中はボランティアが待機しています。）

連絡先：電話・FAX 048-825-2749 担当：増田 メール smile04529@bz03.plala.or.jp

◇ 編集後記 ◇

車いすダンススポーツと出会ってから、かれこれ20年余りになる。まさかワルツ・タンゴ・ルンバなどの社交ダンスが車いすで踊れるとは？車いすダンスは健常者とパートナーを組んで踊ったり、車いす同士でも踊れることもできるスポーツである。ダンスを通して、たくさんの人たちとの出会いがあった。また、競技会に出場したり、デモンストレーションで踊ったり、海外に行ったりと、車いすダンスは私の40代からの人生にいきがいと小さな輝きを与え、私を助けてくれた。いまは、月1回程度障害者交流センターで、埼玉県車いすダンス友の会というサークルで仲間と楽しんでいる。ぜひ一緒に。

2020年開催のオリンピック・パラリンピックが、障害者スポーツへの関心を高め、障害者スポーツを始める人、楽しむ人が増えてきている。スポーツやレクリエーションは人とのコミュニケーションを深め、笑顔にしてくれる。また、生きがいづくりにもつながり、リハビリにも良いと言われている。勝敗・結果にこだわることはない。障害者の社会参加のきっかけになってほしいと思う。

埼玉県車いすダンス友の会

田中 一